

81年シベリア日食のソ連旅行事情

清水 真澄

81年、7月31日の日食は、黒海東端から、カスピ海北部を通り、シベリアを横断、樺太のほぼ中央を通り、ハワイ沖を抜けるものです。皆既帯のほとんどがソ連領内であり、土屋さんの提案する飛行機内での観測方法以外は、ソ連国内で観測するしかありません。

ソ連旅行というと不安を感じる方も多いと思いますので、今回は、旅行に関する実情を簡単に書いてみたいと思います。

1. 旅行計画について（入国方法、宿泊等）

- ソビエト旅行は、団体、個人旅行共、ソ連政府観光局（インツーリスト）へ、指定の旅行代理店を通して申し込むという形がとられています。
- 旅行に関する一切は、その代理店が、経路（交通機関）、宿泊地、日数等をインツーリストに連絡して決定します。日本で費用のほとんどを払い込みます。旅行中の変更はほとんど不可能なようです。
- 外国人観光客が宿泊出来る都市が決められています。観光客の受け入れ体制のない所は入ることが出来ません。また、都市毎に宿泊日数も限られています。

2. 持ち物について

- ソ連に持っていく荷物の重量制限は、交通機関によって違います。船—50Kg、鉄道35Kg、飛行機—国内便30Kg、国際便20Kgまで無料です。
- カメラの持ち込みは2台、望遠鏡その他の観測用具は、主旨を伝えれば、本国と連絡を取って便宜を計ってくれるようです。

3. 入国経路

- 船 横浜—ナホトカ（2泊3日54時間）→シベリア鉄道
- 飛行機 新潟—ハバロフスク（2時間） 一週2便—
- 飛行機 東京—モスクワ（10時間15分） 一週20便以上—

4. シベリア日食の最適地

1～3の状況と皆既時間を考え合わせると、バイカル湖の西にあるブラーツクがよいと思い

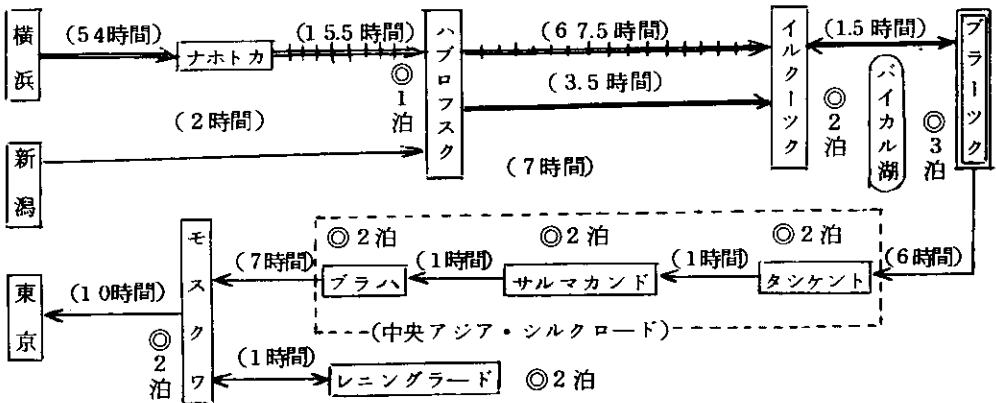
ます。ブラーツクは、イルクーツクから飛行機で1時間30分の所にあります。飛行機又はシベリア鉄道を使って、ナホトカーハバロフスクーイルクーツクーブラーツクという方法、モスクワーイルクーツクーブラーツクの方法が考えられます。

ブラーツクは、3泊4日の宿泊が出来、日食観測は2分程度の観測が可能です。

5. ブラーツクの概観

ブラーツクは17世紀にアンカラ川岸のバドゥン早瀬に集落が築かれたのに始まり、その後、発電所建設のためにダムが造られ、大人造湖ブラーツク海により発展した人口20万3千の町です。現在は、発電所のほか、製材所、アルミニウム工場があり、観光のためにダムと発電所が公開されています。又、バイカル湖にも近く、タイガ（大密林）に囲まれた所です。

6. 旅行計画案（＝船、≡≡≡ 鉄道、— 飛行機、（ ）所要時間、◎宿泊日数）



○ブラーツク、バイカル湖の旅で、7～11日、中央アジア、シルクロードも加えて15日、に、モスクワ、レニングラードを入れると18日程度の日数が考えられます。費用は30万～80万円ぐらいでしょう。安く長くという方は、シベリア鉄道、船を利用するといわれています。

○夏休み中でもあり、特に、学生、教員にとっては、最適な時期だと言えます。

7. 問い合わせ先

○ソ連政府観光局（インツーリスト） TEL (03) 584-6617

東京都港区六本木4-1-16 六本木ハイツ

○代理店

・日ソ旅行社 TEL (03) 404-1751

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-20-1 パークアベニュービル

- 日ソツアーリストビューロー TEL (03) 432-6161
東京都港区虎ノ門5-8-8 第三文成ビル
- ワイエス旅行社 TEL (03) 271-4506
東京都中央区京橋2-6-20 大三ビル
- その他 日本交通公社、近畿日本ツアーリスト、日本旅行、阪急旅行社など

ミニ情報 ————— 日食関係の放送

アフリカ・インド日食も間近にせまってきましたが、日食関係の放送予定を2つお知らせしておきましょう。

- ★ 1月28日(月) 13:00 ~ 13:20 再放送2月4日(月)13:00 ~ 13:20

「日食を追って」NHK教育テレビ 講師 村山定男

日食の原理、観測、歴史等についてのべるとともに、今回の日食についても解説します。

- ★ 3月中(詳細不明)

「アメリカと日食(仮題)」テレビ朝日 開局20周年記念番組

アフリカに3隊にわけて日食取材班をおくり、スペシャル番組をくみます。キリマンジャロ山中腹に陣どった隊は、北限界線付近にカメラを置き、本影錐を中心に撮影。マリンディ隊は東京天文台の観測風景を取材。タンザニアのレイクマニヤラ隊は皆既前後の動物の様子をとらえるようです。この他にも瀝美清・ゴダイゴ等が登場して、現地取材や歌をうたうそうで、楽しい番組になりそうです。